

08874-k9022
-k9021
-k9023
-k9028

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	スマートフィニッシュ A 液
整理番号	08874K9022, 08874K9021, 08874K9023, 08874K9028
販売会社名	株式会社 バンザイ
住所	〒105-8580 東京都港区芝 2-31-19
担当部門	調達部
電話番号	03-3769-6806
F A X 番号	03-3453-9036
製造会社名	株式会社 BT0
住 所	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東 5-2-19
担当部門	商品企画部
電話番号	06-6302-5711
F A X 番号	06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

GHS- 分類:

引火性液体	区分 3
吸引性呼吸器有害性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 3, 麻酔作用

GHSラベル表示:

ピクトグラム:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- H226 : 引火性の液体および蒸気。
H304 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H336 : 眠気あるいは、めまいのおそれ。

注意書き:

予防措置:

- P210 : 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること - 禁煙
P233 : 容器を密閉しておくこと
P240 : 容器及び、受入れ装置を接地すること / アースをとること
P241 : 防爆型の電気機器、喚気装置、照明機器を使用すること
P242 : 火花を発生させない工具を使用すること
P243 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること
P261 : ミスト / 蒸気を吸入しないこと
P271 : 屋外あるいは、換気のよい場所でのみ使用すること

P280：保護手袋及び、眼 / 保護面を着用すること

対応：

P301+P310：飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること

P303+P361+P353：皮膚（あるいは、髪の毛）に接触した場合、直ちに全ての汚染された衣服を脱ぎ、流水 / シャワーで洗い流すこと

P304+P340：吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

P312：気分が悪い時は、医師に連絡すること

P331：無理に吐かせないこと

P370+P378：火災の場合、消火に水噴霧、泡、ドライ・ケミカルあるいは、炭酸ガス（CO2）を用いること

保管：

P403+P235：換気のよい場所で保管すること。また、冷所に保管すること

P405：施錠して保管すること

廃棄：

P501：内容物および容器は、法規制に従って処分すること

内容物：脂肪族/脂環式炭化水素混合物、水素化された石油軽留分

物理化学的危険性：この物質は、着火源となる静電気を蓄積する可能性がある。この物質は蒸気を発生し、速やかに燃焼性混合物を生成することがある。また、蓄積した蒸気は、もし着火した場合、燃焼もしくは爆発する恐れがある。燃焼性。

健康有害性：反復して暴露すると、皮膚の乾燥またはひび割れの原因となることがある。軽度の皮膚刺激。また、眼、鼻、喉及び、肺への刺激の可能性がある。中枢神経抑制を起こす恐れがある。

環境有害性：重大な危険性はない

備考：健康に及ぼす影響を調べた結果、個人差はあると思われるが、化学的曝露により潜在的な健康リスクを与える可能性がある。

3. 組成、成分情報

この物質は、混合物として定義されている。

通知すべき危険有害物質もしくは、複合物

名称	CAS#	濃度※	GHS 危険有害性コード
脂肪族/脂環式炭化水素混合物	64742-48-9	50-60%	H226, H304, H336, H316
水素化された石油軽留分	64742-47-8	40-50%	H227, H304
シリコーン化合物		0.5-5%	

この複合物には、通知すべき危険有害性のある組成物を含む

名称	CAS#	濃度※	GHS 危険有害性コード
ノナン	111-84-2	0.5-5%	H226, H304, H336, H316

※ガスの濃度は容量パーセントで表し、それ以外は重量パーセントで表す。

日本の成分情報

労働安全衛生法 57 条 1 項、表示対象物質：なし。

労働安全衛生法 57 条 2 項、通知対象物質：

名称	労働安全衛生法 物質番号	濃度
ノナン	432	0.5-5%

労働安全衛生法：57 条-2 項、通知対象物質：

名称	労働安全衛生法 物質番号	濃度
石油 ナフサ	330	50-60%

労働安全衛生法施行令、別表 3-1、製造許可物質：なし。

PRTR 法第 1 種指定化学物質：なし。

PRTR 法第 2 種指定化学物質：なし。

毒物及び劇物取締法の対象化学物質：なし。

4. 応急措置

吸入 暴露を止めること。救助員は、自身あるいは他の人々が暴露するのを避けること。適切な呼吸用保護具を着用すること。もし呼吸障害、めまい、吐き気が起きたり、意識不明の状態に陥った場合は、直ちに医師の治療を受けること。呼吸が停止した場合は、機器等を用いて酸素吸入を試みるか、口対口の人工呼吸を行う。

皮膚との接触

石鹼と水で接触した部分を洗浄する。汚染した衣服を脱ぐ。汚染した衣服を、再度使用する前に洗濯する。

眼との接触

水で完全に洗い流す。もし刺激が治まらない場合は医師の手当を受ける。

経口摂取 直ちに医療機関の手当てを受ける。無理に吐かせてはならない。

急性及び遅発性の症状/影響 有害性影響を参照すること。

医師への注意

経口摂取した場合、本物質は肺まで吸引され、化学物質による肺炎が起こることがある。適切に治療する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤：消火には噴霧水、泡、ドライケミカル、炭酸ガスを使う。

不適切な消火剤：直接の水噴射

消火

消火方法：引火性 その現場から避難させる。消火剤やその希釈剤が、水路、下水、あるいは上水道へ流入することを防ぐ。消防士は、標準の防護装備を使用し、建物内部やタンク内等では自給式呼吸機（SCBA）を用いる。火にさらされた表面を冷却したり、人を守るために噴霧水を使用する。

異常な火災危険物質：燃焼性。

蒸気は可燃性で空気よりも重い。蒸気は地面を移動して遠方の着火源に到達し、逆火の危険を起こすことがある。

有害物質である。消防士は第 8 項で示したような保護具の使用を検討する。

有害な燃焼生成物：煙、煙霧、不完全燃焼時の生成物、炭素酸化物

燃焼特性（脂肪族/脂環式炭化水素混合物）

引火点 [試験法]：>=40°C (104° F) [ASTM D-56]

燃焼範囲（おおよその空気中の容量%）：下限：0.6 上限：7.0

発火点：>200°C (392° F)

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。適切な保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。適切な防護措置により拡散を防ぐこと。

除去方法 回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。漏出物は不活性

な物質（乾燥砂、土、おがくず、ウエス等）を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。取扱いの後は手等を十分に洗浄すること。（使用後は）常に容器を密閉すること。

注意事項 静電気の帯電への予防対策をとること。

保管

技術的対策 製品提供時の容器で保管すること。十分に換気のとれた涼しい場所で容器を密閉し保管する。

保管場所および容器の必要条件 適用される法令・法規等に従って保管を行なう。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

許容濃度/基準値（注記：複数の値がある場合、加算的ではない）

物質名	形態	許容値/規格			注意事項	出典
ノナン		TWA	1050 mg/m ³	200 ppm		日本 OEL-JSOH (2013)
ノナン		TWA	200 ppm			ACGIH (2011)

設備対策 ドラフトチェンバーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。作業場所には緊急時のシャワー設備や洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸器の保護 不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いること。

手の保護具 保護手袋（耐有機溶剤）

目の保護具 リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること（サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド）。

皮膚及び身体の保護具 皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。保護服（耐有機溶剤）。

9. 物理的及び化学的性質

注：物理的及び化学的性質は、安全、健康、環境に関する情報のためのみに提供するものであり、製品の全ての性状を示したものではない。その他の情報については、供給者に相談すること。

一般情報

物理的状態：液体

色：無色透明～白色半透明

臭気：マイルドな石油/溶剤

臭気閾値：データなし

健康、安全、および環境に関する重要な情報

比重 (@ 15 °C)：0.79

密度 (@ 15 °C)：790 kg/m³

可燃性(固体、ガス)：適用外

引火点 [試験法]：>=40°C (104° F) [ASTM D-56] (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

燃焼範囲（おおよその空気中の容量%）：下限：0.6 上限：7.0(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

発火点：>200°C (392° F) (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

沸点 / 範囲：147°C (297° F) - 199°C (390° F) (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

分解温度：データなし

蒸気密度 (空気 = 1)：> 1 @101 kPa (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

蒸気圧：0.21 kPa (1.57 mm Hg) @ 20°C | 0.7 kPa (5.25 mm Hg) @ 38°C

| 1.3 kPa (9.75 mm Hg) @ 50°C (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

蒸発率 (酢酸 n-ブチル = 1)：0.11 (脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

pH：適用外

Log Pow (n-オクタノール/水分配係数)：データなし

水への溶解性：無視できる

粘度：データなし

酸化特性：危険有害性の要約の項を参照。

その他の情報

凝固点：データなし

融点：データなし

流動性：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常状態で安定。

避けるべき条件：加熱、スパーク、はだか火、およびその他の発火源は避ける。

避けるべき物質：強酸化剤

有害な分解生成物：この物質は、常温では分解しない。

危険有害性反応の可能性：危険有害性のある重合はおきない。

11. 有害性情報

暴露経路	結論/備考
吸入	
毒性：	中枢神経に影響を及ぼす恐れがある。(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)
炎症：	常温/通常取り扱う温度では、無視できる有害性しかない。類似構造物質の試験データに基づく。(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)
摂取	
毒性：LD50 > 15000 mg/kg	毒性が極めて低い。類似構造物質の試験データに基づく。(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)
皮膚	
毒性：LD50 > 3160 mg/kg	毒性が極めて低い。この構造物質の試験データに基づく。(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)
炎症：	皮膚を乾燥させ、不快感、皮膚炎に結びつく恐れがある。類似構造物質の試験データに基づく。(水素化された石油軽留分)
眼	
炎症：	眼に、短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れがある。類似構造物質の試験データに基づく。(脂肪族/脂環式炭化水素混合物)

短長期暴露による他の健康有害性

ヒトでの経験や実験データから、亜慢性、慢性の呼吸器系又は皮膚感作性、変異原性、生殖毒性、発がん性、標的臓器毒性（単回暴露又は反復暴露）、吸引性呼吸器有害性その他の健康影響が予想される。（脂肪族/脂環式炭化水素混合物）

製品：

上にリコメンドする曝露レベルを超えた濃度の蒸気は、眼、呼吸器系を刺激し、頭痛、眩暈を起し、知覚が麻痺し、他の中枢神経系に悪影響することがある。粘性の低い物質を長期間および/または反復して触れると、皮膚から脂肪が除かれ、結果として痛み、皮膚炎を起こすことがある。飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。（脂肪族/脂環式炭化水素混合物）

IARC(国際がん研究機関) 分類：

以下の成分は、下記リストで示す：なし。

—探索した規制リスト—

1 = IARC 1 (ヒトに対して発ガン性がある)

2 = IARC 2A(ヒトに対して恐らく発ガン性がある)

3 = IARC 2B(ヒトに対して発ガン性がある可能性がある)

12. 環境影響情報

ここに示す情報は、この物質、成分および類似物質のデータに基づいている。

生態毒性

物質 -- データなし

移動性

物質 -- 非常に揮発性が高く、速やかに空气中に拡散する。汚泥ならびに汚水固形物として分離することは予測されない。（脂肪族/脂環式炭化水素混合物）

残存性および分解性

生物分解：物質 -- データなし

加水分解：物質 -- データなし

光分解：物質 -- データなし

大気中での酸化反応：物質 -- データなし

その他の環境影響（生態学的）情報 VOC（揮発性有機化合物）：該当

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

製品が付着している汚染容器・包装

空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

国連分類 : クラス 3

国連番号 : 1993

容器等級	：	Ⅲ
特定の安全対策及び条件	：	容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、輸送に際しては直射日光を避け、荷崩れ防止を確実にを行う。保護具を携帯する。移送時にイエローカードの保持が必要。
海上規制情報	：	I M Oの規定に従う
船舶安全法	：	引火性液体類
航空規制情報	：	I C A O / I A T Aの規定に従う
航空法	：	引火性液体

15. 適用法令

この物質は、化学品の分類及び表示に関する調和システム(GHS) (JIS Z 7252-2009)に基づく区分によれば有害性があると見なされる。

適用法令：

化審法：既存化学物質
消防法：危険物第4類 引火性液体 第2石油類（非水溶性）、危険等級Ⅲ
労働安全衛生法：通知対象物質
労働安全衛生法（危険物）：引火性の物
有機溶剤中毒予防規則：第3種有機溶剤
毒物及び劇物取締法（PDSCL）：非該当
港則法：危険物
化学物質管理促進法（PRTR法）：非該当
道路運送車両法：危険物

16. その他の情報

この文書に含まれる情報および推奨事項は、株式会社 BT0 が有する情報および知見の範囲の限りで、発行時において正確且つ信頼できるものです。この文章が最新版であることを確認する場合は株式会社 BT0 にご連絡ください。この文書の情報および推奨事項は、使用者による検討、調査のために提供されています。本製品の特定の使用目的への合致の有無については使用者においてご確認ください。本製品の購入者が荷姿を変更する場合、健康、安全、その他必要な情報を含む書類を同封しましたら容器に添付するのは購入者の責任です。適切な警告標示、安全な取扱い手順を、取扱者と使用者に提供して下さい。この文書を全体的または部分的に変更することは強く禁じられています。法的に必要な場合を除いて、再発行、再頒布することは、許可されていません。

08874-K9022
-K9021
-K9023
-K9028

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	スマートフィニッシュ B液
整理番号	08874K9022, 08874K9021, 08874K9023, 08874K9028
販売会社名	株式会社 バンザイ
住所	〒105-8580 東京都港区芝 2-31-19
担当部門	調達部
電話番号	03-3769-6806
FAX番号	03-3453-9036
製造会社名	株式会社 BT0
住所	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東 5-2-19
担当部門	商品企画部
電話番号	06-6302-5711
FAX番号	06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

GHS- 分類:

引火性液体	区分 2
急性毒性	区分 4, 経口
皮膚腐食性	区分 1A
重篤な眼の損傷性	区分 1
吸引性呼吸器有害性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 3, 麻酔作用
急性水生毒性	区分 3

GHS分類日 2014. 11. 28 (事業者向け GHS 分類が 2015 年 3 月経済産業省)

GHSラベル表示:

ピクトグラム:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

H225	引火性の高い液体および蒸気。
H302	飲み込むと有害。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H336	眠気あるいは、めまいのおそれ。
H402	水生生物に有害。

注意書き:

安全対策:

- P210：熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
- P233：容器を密閉しておくこと。
- P240：容器を接地すること / アースをとること。
- P241：防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用すること。
- P242：火花を発生させない工具を使用すること。
- P243：静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P261：ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- P264：取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271：屋外あるいは、換気のよい場所でのみ使用すること。
- P273：環境への放出を避けること。
- P280：保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急処置：

- P301 + P310：飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- P301 + P330 + P331：飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P303 + P361 + P353：皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと / 取り除くこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
- P304 + P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305 + P351 + P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P310：ただちに医師に連絡すること。
- P321：特別処理(このラベルの補足の応急処置指示参照)。
- P363：汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P370 + P378：火災の場合：消火には、乾燥砂、粉末消火剤(ドライケミカル)、または耐アルコール性フオームを使用する。

保管：

- P403 + P235：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405：施錠して保管すること。

廃棄：

- P501：廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

内容物：脂肪族/脂環式炭化水素混合物、水素化された石油軽留分

最重要危険有害性 特定の危険有害性

－水と接触すると水素、アンモニアを発生させる。

3. 組成、成分情報

この物質は、混合物として定義されている。

名称	濃度※	官報公示整理番号	CAS 番号
ナフサ（石油類、水素化処理 重質）	>=60	-	64742-48-9
ノナン	<=3.0	-	111-84-2
有機リン化合物	>=40	非開示	非開示

危険有害成分

労働安全衛生法 57条2項

名称	含有量 (%)	注
ナフサ (石油類、水素化処理 重質)	>=60	
ノナン	<=3.0	

GHS危険有害性成分

名称	含有量 (%)	官報公示整理番号	CAS 番号
有機リン化合物	>=40	非開示	非開示
ナフサ (石油類、水素化処理 重質)	>=60	-	64742-48-9
ノナン	<=3.0	-	111-84-2

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静を保つ。呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ気道を確保した上で人工呼吸を行なう。直ちに医療処置をうける手配をする。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、直ちに石鹸および水で洗い流すこと。汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断して取り除く。刺激が続く場合はできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

目に入った場合

最低 15 分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

飲み込んだ場合

被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。無理やり吐かせてはいけない。被災者を安静にさせできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

5. 火災時の措置

消火剤

消火剤：二酸化炭素（炭酸ガス）・粉末・耐アルコール泡消火器

消火を行う者の保護

全身保護衣を着用すること。火災の際には適切な呼吸器を着用する。

特定の消火方法：蒸気を吸入しないために風上へ移動する。火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による（容器内の）圧力上昇を抑えるため 容器を水の噴霧により冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。適切な保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。適切な防護措置により拡散を防ぐこと。

除去方法

回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。漏出物は不活性な物質（乾燥砂、土、おがくず、ウエス等）を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。取扱いの後は手等を十分に洗浄すること。(使用後は)常に容器を密閉すること。

注意事項 静電気の帯電への予防対策をとること。

保管

技術的対策 製品提供時の容器で保管すること。十分に換気のとれた涼しい場所で容器を密閉し保管する。

保管場所および容器の必要条件 適用される法令・法規等に従って保管を行なう。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 ドラフトチェンバーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。作業場所には緊急時のシャワー設備や洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸器の保護 不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いること。

手の保護具 保護手袋（耐有機溶剤）

目の保護具 リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること（サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド）。

皮膚及び身体の保護具 皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。保護服（耐有機溶剤）。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理の状態：液体

色：無色ないし淡黄色

臭気：わずかにアンモニア臭

引火点 [試験法]：25.1℃ [セタ密閉式]

溶解性：

水への溶解性：二層に分離する。

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件：強酸化剤との接触を避けること。また強酸性および強塩基物質との接触は本製品の加水分解をおこすおそれがある。加熱、スパーク、裸火、及びその他の発火源は避ける。

危険有害性のある分解性生物：熱分解により二酸化炭素(CO₂)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO_x)を発生させる恐れがある。

水素

アンモニア

反応性：予期される通常の保管及び条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

製品情報

急性毒性

急性毒性（経口）

LD50：> 300-2,000 mg/kg(ラット)

方法：OECD 423

皮膚腐食性及び刺激性 腐食性(corrosive)あり。(ウサギ) 方法：OECD 404

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 眼に重度の障害を与えるリスクがある。

組成情報

ナフサ（石油類、水素化処理 重質）（64742-48-9）

急性毒性

- 急性毒性（経口） LD50:>15000 mg/kg
急性毒性（経皮） LD50:>3160 mg/kg
急性毒性（吸入） 中枢神経に影響を及ぼす恐れがある。

有機ポリシラザン化合物

- 急性毒性（経口） LD50：> 300-2,000 mg/kg(ラット) 方法：OECD 423
皮膚腐食性及び刺激性 腐食性(corrosive)あり。(ウサギ) 方法：OECD 404
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 眼に重度の障害を与えるリスクがある。

12. 環境影響情報

製品情報

その他の環境影響情報

生態系に関する追加情報：知見なし

組成情報

ナフサ（石油類、水素化処理重質）（64742-48-9）

その他の環境影響情報 VOC に該当

有機ポリシラザン化合物

生態毒性 LC50：57.1 mg/l, 96 h, Danio rerio (ゼブラダニオ) 方法：OECD 203

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

下水、地中、水中への廃棄を行なってはならない。焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)および 関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

製品が付着している汚染容器・包装

空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

UN number : 2924
Description of the goods : Flammable liquid, corrosive, n.o.s. (Organic polysilazane compound)
Class : 3
Packing group: III
Labels : 3 (8)
Environmentally hazardous : no

IMDG

UN number : 2924
Description of the goods: FLAMMABLE LIQUID, CORROSIVE, N.O.S. (Organic polysilazane compound)
Class : 3
Packing group: III
Labels : 3 (8)
EmS Number 1: F - E
EmS Number 2: S - C
Marine pollutant : no

15. 適用法令

化審法：規制されない。

労働安全衛生法

有機則 第三種有機溶剤：ナフサ（石油類、水素化処理 重質）

名称を通知すべき危険物及び有害物質（法第57条の2）：ナフサ（石油類、水素化処理 重質）、ノナン
毒物及び劇物取締法：規制されない

消防法：第四類 引火性液体 第2石油類 危険等級Ⅲ，非水溶性，指定数量，1000L

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）：規制されない。

16. その他の情報

詳しい情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。
